



2025「鳴門海峡の渦潮」国際シンポジウム

資料 6

世界遺産登録をめざしている鳴門海峡の渦潮。

大阪・関西万博の開催により世界から関西に注目が集まるこの機会に、国内外の関係者参加により渦潮の魅力の発信と海の適正利用について考えるシンポジウムを開催。

- ◇ 目 時 令和7年9月1日（月） 13:00～16:40
- ◇ 場 所 ホテルニューアワジ プラザ淡路島（南あわじ市阿万吹上）
- ◇ テーマ 渦潮から考える海と暮らしの未来
- ◇ 内 容
 - 両会長挨拶（兵庫・徳島県知事）
 - これまでの取組報告
 - ・鳴門海峡の渦潮の普遍的価値
 - ・鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた今後の取組の方向性
 - 海外事例紹介（海外類似資産連携調査学術機関からの発表）



サルトストラウメン海峡の渦潮
と海洋保護区域

ヴィグディス・トゥベルバーグ氏
(Prof. Vigdis Tverberg)
(ノルウェー ノード大学 教授
バイサレン・水産養殖学部 生態学学科長)



コリーブレッカン湾の渦潮
～ 神話と現況 ～

アンドリュー・デール氏
(Dr. Andrew Dale)
(スコットランド スコットランド海洋科学
協会 主席研究員)





●基調講演 (世界遺産の現状等)

顕著な普遍的価値を有する自然遺産を守るための手段としての世界遺産条約

ギィ・ドウボネ氏
(Mr. Guy Debonnet, M.Eng.)
(元ユネスコ世界遺産センター自然遺産ユニット長)



地質遺産の保全における地域社会の参加

シャフィーア・レマン氏
(Prof. Emeritus Dr Mohd Shafeea bin Leman)
(マレーシア国立大学名誉教授、
IUCN世界保護地域委員会委員 (地質遺産専門家グループ運営委員))



世界遺産の文化的景観：自然と文化の懸け橋

モニカ・ルエンゴ氏 (Dr. Mónica Luengo)
(元イコモス文化的景観国際委員会委員長)



●パネルディスカッション

世界遺産と豊かな海について、海外招聘者、地域住民と共に意見交換
・コーディネーター 吉田正人氏 (筑波大学名誉教授・世界遺産学)

●鳴門の海を守り、未来へ継承していくメッセージを発信

◎翌日は鳴門海峡周辺を現地視察

福永家住宅、名勝「鳴門」、大鳴門橋遊歩道「渦の道」、うずしおクルーズ

※前日8月31日は住民活動団体主催「鳴門海峡の渦潮あわじ島環境シンポジウム」に
モニカ・ルエンゴ氏出席予定

場所・時間： 洲本市立文化体育館 13:30～16:30

